

# 磐城時報

福島縣石城郡平町新聞社  
印刷部 印刷  
電話 二四八  
郵政掛號 第三三三號  
代印部 印刷  
電話 二四八  
郵政掛號 第三三三號  
代印部 印刷  
電話 二四八  
郵政掛號 第三三三號

## 咲き誇る櫻花に 散りし武人をしのぶ

### 日露戦捷三十年を記念して 盛大な招魂祭を執行

石城郡平町村長支會では在郷軍人の英靈を祀る當日の盛典こそ石城郡聯合分會と共同主催で來豪壯な一大繪巻物ではあらう。十日恒例の松ヶ岡公園招魂祭を執行する。

## 平武分會主催 武道大會

四月十日別項の如く舉行される忠魂祭の祭典をトして武徳會平分會では當日松ヶ岡公園廣場で恒例の武道大會を舉行することになつた。同日小學校長に榮轉することになり、近日家族同伴赴任の途に着く筈であるが、同氏は佐藤前校長の後任として昭和七年四月十二日福島縣視學より天降つて着任以來同校の改善發達並に児童教育に勤め、最近四年間は首座訓導として津田校長輔佐の重職を果した。

## 郡下教員の大異動 異動實に百余名

教育界視聽の的となつてゐる縣稀有の大異動であつた。郡下轉下教員定期異動は三十一日發表退職校長は、(新任地) (舊任地)  
校長轉補一八、同上退職一、梁川 平第二 津田 達造  
訓導轉任四六、同上退職七、下小屋 入遠野 渡邊 義唯  
同新任三二、准代用教員轉任 美山 内郷第一 成田 政助  
一四、同上退職九、雨田 高川 前 鈴木 榮治  
合計百十七名の多數に上り近年大野 高久 鈴木龜之助

## 津田平第二校長 郷里梁川校へ榮轉

### 後任は平町出身千葉右近氏 金澤第二校首席も校長に榮進

平第二小學校長津田達造氏は別項の教員異動の結果伊達郡梁川小學校長に榮轉することになり、近日家族同伴赴任の途に着く筈であるが、同氏は佐藤前校長の後任として昭和七年四月十二日福島縣視學より天降つて着任以來同校の改善發達並に児童教育に勤め、最近四年間は首座訓導として津田校長輔佐の重職を果した。

## 高橋光山女史一門 紫山流盤景陳列

平町白銀町池坊生花師高橋光山女史は東京方面で上流家庭に流行してゐる紫山流盤景を宗家に就いて學び教授免許の免許を得た。昭和十年「春の平」をり迎會は六日午後五時から住吉屋本店で開く。

## 大浦學務委員

大浦村學務委員改選は去る二十九日執行したが左の四氏に決定した。渡邊貴一、愛川軍治、高崎清壽、渡邊周平、以上

## 浦村區長

浦村の行政區長の改選は去る二十九日同村役場内に於て執行したが左の八名に決定した。

## 花に魁けて豪華な 博覽會の春開く

平町・春のエピソード—非常士、顧問青沼平町長以下郡下朝時日本の怒濤に躍つて國防觀念野の名士百余名を招待、盛大に「博覽會」の舉行された。場内演藝舞臺では、國防と滿蒙産業博覽會「開場式」新田町紅裙連の舞踊があり頗るは花に魁けて午後一時から盛況であつた。近代構成美的博覽會場の青、黄、緑、白の鮮やか

## 新舊署長 歡送迎宴

柴田、横山新署長、舊署長歡送迎會は六日午後五時から住吉屋本店で開く。

## 緬羊聯合組 合正副會長

石城郡緬羊聯合會合正副會長は去る二十九日平町團事務所で開き規約制定、役員改選を行つたが、會長青山哲太郎、副會長志賀澤之助兩氏と決定した。

## 農會代議員 けふ選舉

平町は平穩に終了。石城郡下各農會代議員選舉はけふ午前九時から各町村役場で一斉に執行されたが、平町に於ては有権者たる農會員六百二十三名で正午までの投票者は約二百五十名で野心家連の策動もなく極めて平穩裡に午後四時終了した。

## 六名車座で 花札賭博

後七時ころ小名濱町中島漁夫四家西松(四)方で同人始め佐川留吉(四)高橋鐵四郎(四)三小林峰雄(一九)柳内秀明(二六)江名町永崎農永山仙三郎(四五)の六名車座となり花札賭博開帳中を平署員に踏込まれ一網打盡に檢擧。

